

半田濡れ性 受託サービスのご紹介

品質保証室 品質管理課



株式会社 エクセル電子

半田濡れ性試験

RoHSなど環境対応により電子部品/電子機器の鉛フリーはんだ接合部には微細化がますます進み、鉛入りはんだと同等以上の信頼性が要求されています。

はんだのぬれが良く付けが接合状態もよい物となり、濡れが悪いと接合されない状態になります。金属表面の酸化被膜やメッキなどの被膜状態に大きく影響を及ぼすため、はんだぬれ性を測定する必要があります。

メニスコグラフ試験法での規格(JIS、IEC、EIAJ)に対応した測定評価が可能です。

ソルダーチェッカによるはんだ槽平衡法、はんだ小球平衡法測定、各種部品に対応したチャックをご用意しており、さまざまな形状の部品ぬれ性測定評価が可能です

当社では半田濡れ性に対応した分析受託サービス分析を行い、お客様の費用負担軽減のご要望にお応えします。

半田濡れ性試験

モード	規格	試験機器
はんだ槽平衡法 はんだ小球法	IEC 60068-2-69/JIS C 60068-2-69 JEITA ET-7411 カスタム	(株)レスカ 5200TN はんだ濡れ性試験機 
環境試験(前処理)		
エージング 耐湿試験 ヒートショック試験 その他		

※環境試験前後の評価試験

お見積り内訳

	内訳	数量	単位	単価
1	基本料金	1	式	¥10,000
2	準備費用	1	式	¥10,000
3	まとめ費用(レポート)	1	式	¥10,000
※4	測定	1	回	¥500
※5	専用治具費用	1	式	¥15,000
※6	環境試験費用	1	h	¥900
7	サンプル返送料	1	式	¥1,000

※4 測定は、はんだ槽平衡法、はんだ小球法 各1回(1pcs)の料金です

※5 実装チップ部品(0603サイズ)等の測定には治具費用が発生します

※6 環境試験ご依頼の場合、各 エージング、耐湿試験、ヒートショック試験 1hの試験費用です

試験受託サービスの流れ

1	お客様	E-mailにて弊社担当者までご連絡をお願いします。 分析依頼/見積もり依頼 試料発送
	↓	
2	弊社	試料が弊社に到着後、メールにて納期のご連絡をいたします。 弊社にて試験、結果連絡(ドラフトレポート)
	↓	
3	弊社	弊社より正式レポート発行 お客様へ請求書発行

ご注意

- 1 組立てられた状態では試験評価ができない場合、事前にお客様側で分解をお願いする場合がございます。
- 2 短納期をご希望の場合には、都度ご相談願います。
- 3 環境試験後の評価試験には別途試験費用が発生します。
- 4 環境保護のため、紙媒体の報告書の発行をいたしておりません。

お問い合わせ先(担当窓口)

品質保証室 松永

電話番号 089-973-2711

FAX 089-973-2880

E-mailアドレス: m-matsunaga@exjapan.com

E-mailアドレス: exqc@exjapan.com